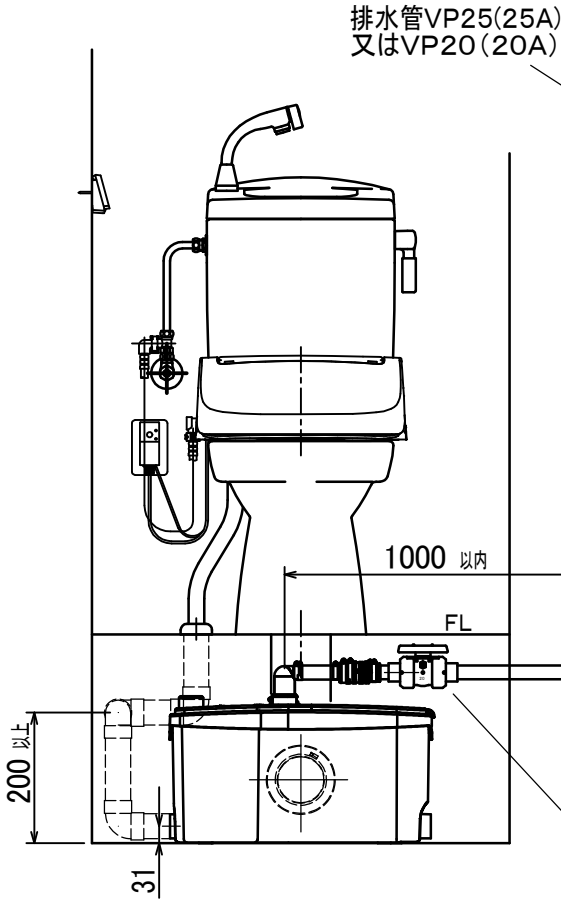
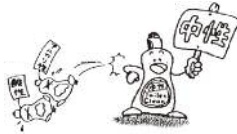
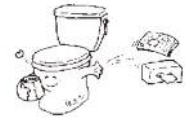


便器	どこでも2L便器 FS402-HKA31
圧送ポンプ	どこでも圧送ポンプ DAP-B

圧送ポンプの仕様	
電源	AC100V(50Hz: 860W、60Hz: 980W)
電源コード長	1.5m
出力	最高揚程: 7m、最大処理量: 110L/分
重量	10kg
受入最高温度	35℃

使用上の注意

- 1 トイレトペーパー以外は絶対に流さないでください。  
便器洗浄用シート、ティッシュペーパー、固い紙(新聞紙、雑誌)等は水に溶けにくく排水管が詰まる原因となりますので、使用しないでください。また、生理用品等も便器に捨てないでください。
- 2 排水温度は35℃以下で使用してください。  
ポンプ作動不良、ケースの変形、ゴム部品の劣化による故障の原因となります。  
35℃以上の排水を流したり、20分以上連続運転すると、ポンプのモーターが停止します。  
その際はコンセントを抜き、30～40分放置後、再度コンセントを入れることで復旧します。  
復旧後は、内部に溜っている汚水を自動排出されます。  
停止状態では内部が満水状態となっています。排水を行うと通気口や蓋から漏水の恐れがあります。
- 3 掃除には中性洗剤以外使用しないでください。  
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類、うじ殺し、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 4 砂や小砂利等は流さないでください。  
洗剤のキャップや組立式玩具の部品等を流さないでください。  
輪ゴムを絶対に流さないでください。油類は流さないでください。
- 5 故障の70%以上が異物混入が原因です。異物混入には充分注意してください。
- 6 停電時、どこでも圧送ポンプが作動しません。  
停電の間、用便後は水を流さず通電してから流してください。
- 7 どこでも2L便器は、洗浄水を流したとき、便器オーバーフローから少し水が流れることがありますが、故障ではありません。

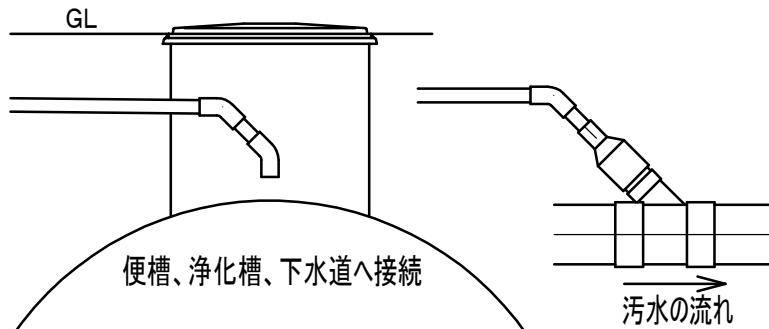
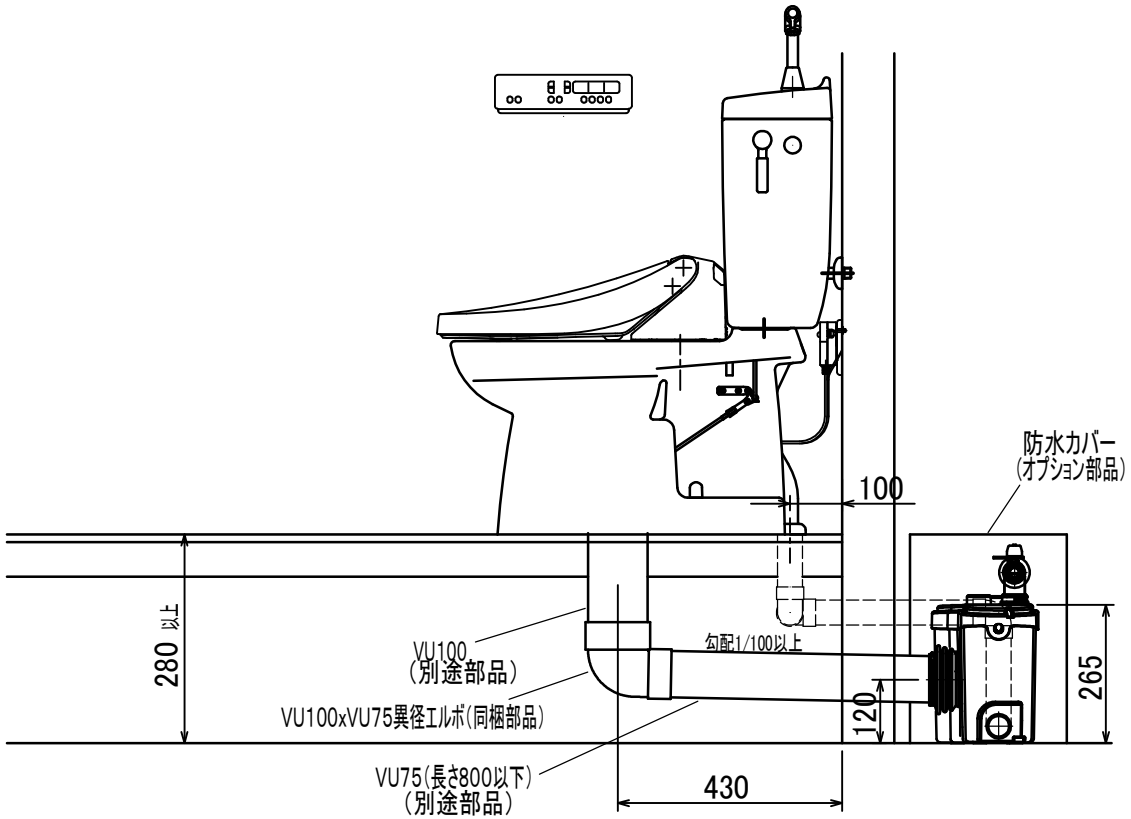
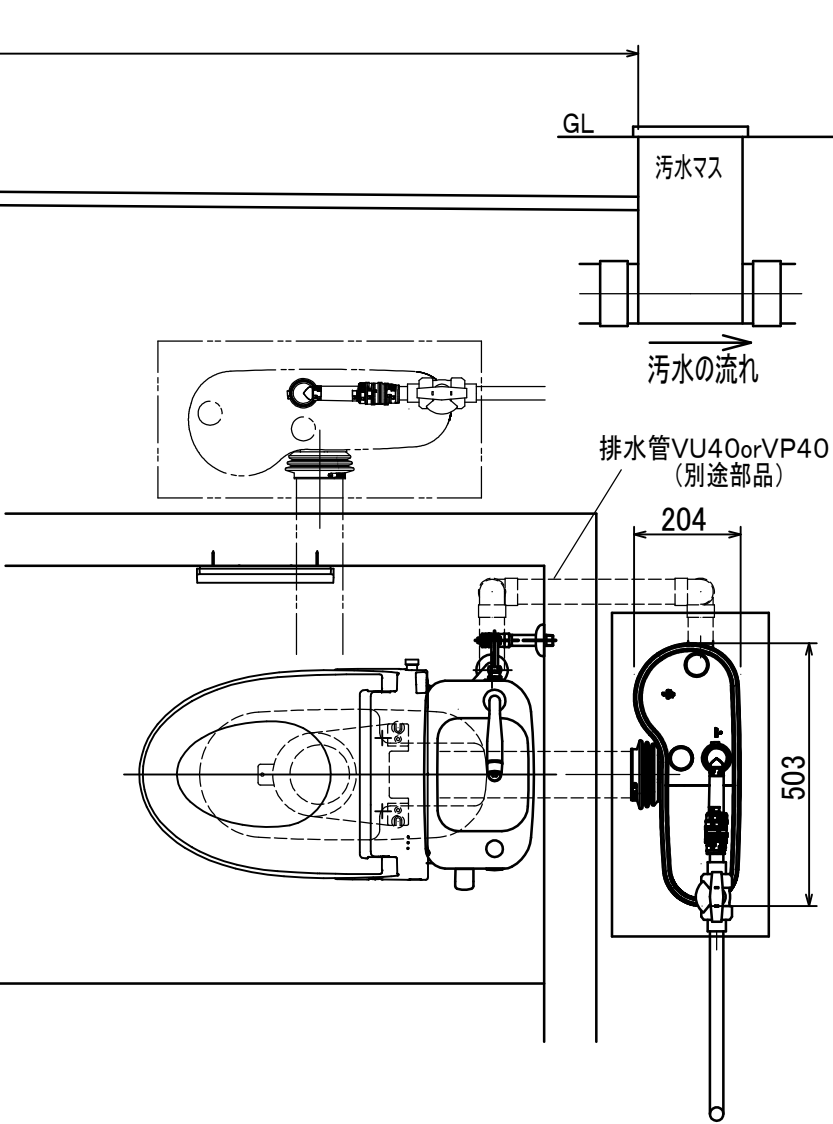


塩ビボールバルブ25(同梱部品)  
VP20の時は、異形ソケット25×20  
を使ってください。  
メンテナンスのとき、止めて作業を  
するため必ず取り付けください。


上方、水平圧送距離

H	L
7m の時	最大 50m
6m の時	最大 60m
5m の時	最大 70m
4m の時	最大 80m
3m の時	最大 90m
2m の時	最大 100m
1m の時	最大 110m

(例) 圧送ポンプから5m上げ、そこから  
横引きする場合最大70mまで



施工上の注意

- 1 接続できる排水は、トイレ、洗面化粧台や手洗器の排水です。  
台所排水を流すと、油が多いため故障の原因となります。  
浴室排水を流すと、大量の排水でどこでも圧送ポンプが連続運転となり  
温度が上昇ポンプが停止するため流さないでください。
- 2 どこでも圧送ポンプから排水先の便槽・合併槽・下水道までの排水配管
  - ① 排水配管の口径：VP25(25A) VP20(20A)も使用可能  
内径がφ20～25の内面がなめらかなホースでも使用可。  
内径がφ20以下のVP13などを使用すると詰り、内径がφ25以上の  
VP30、VP40・・・を使用すると圧送する圧力が低下して詰るため、  
絶対に使用しないでください。
  - ② 排水配管の距離は、「上方、水平搬送距離」の範囲で行ってください。
  - ③ 排水配管VP25 (VP20) の曲りに  
90度エルボ使用不可  
45度エルボを2個使用して曲げて  
ください。
  - ④ 排水配管の曲り1箇所につき、0.5m圧送距離が短くなります。
  - ⑤ 排水配管は、土中埋設・露出配管できます。  
露出配管の時、凍結防止として保温材を巻くなど対策を行ってください。
  - ⑥ 10m以上の排水配管は、10m間隔で掃除口を設けてください。  
掃除口は、下記の2通りから選んでください。  
・TSチーズ継手にツマミ式VP管用掃除口を付ける。  
・TS給水チーズ継手にステンレスのメクラプラグをシールテープを巻  
いてねじ込む。
- 3 簡易水洗便器は、接続できません。必ず、洗浄水量2ℓ以上の便器にして  
ください。
- 4 圧送ポンプ1台と便器1台の組み合わせで施工してください。  
便器2台以上は、配管の詰りの原因となります。
- 5 どこでも圧送ポンプを屋外に設置する場合
  - ① 直射日光に当たらないようにしてください。
  - ② 雨に濡れたり、凍結の恐れがある場合は、カバーで囲ってください。  
カバーはメンテナンスで取り外しができるようにしてください。
  - ③ ポンプの運転音が近所に迷惑になるときは、カバーで防音してください。
- 6 どこでも圧送ポンプは、メンテナンスできるように設置してください。  
誤って流してはいけない物を流したりして詰った場合、どこでも圧送ポンプを  
メンテナンスする必要があります。  
どこでも圧送ポンプは、取り出せるように設置してください。  
排水配管の圧送ポンプから出たところに  
止水できるボールバルブを付けてください。
- 7 雑排水流入口からの配管40Aと手洗器や  
オーバーフロー配管などを接続するとき、  
接続部高さを200mm以上にしてください。  
200mm以下になると、排水が悪くなり、  
詰りの原因になります。  
どこでも2L便器を設置して便槽に溜める  
場合、オーバーフローや手洗の排水を  
圧送ポンプに接続して便槽に入れると、  
器具が故障して水が止まらなくなったとき、便槽が直ぐに一杯になります。  
そのときは、圧送ポンプに接続せず、一般的な簡易水洗便器と同じように  
オーバーフローや手洗の排水は屋外の側溝などの流してください。
- 8 どこでも2L便器は、洗浄水を流したとき、便器オーバーフローから少し水が  
流れることがありますが、故障ではありません。